

～住み慣れた地域で安心して暮すために～ 上球磨3ヶ町村民生委員・児童委員合同研修会開催

多良木町、湯前町、水上村の民生委員・児童委員が一堂に会した研修会が、多良木町の多目的研修センターにおいて開催されました。今回は、住み慣れた地域で暮らし続けていくためにも必要な在宅医療について球磨郡公立多良木病院在宅医療センター春川洋賜センター長、訪問看護ステーション「たいよう」織田伸一主任看護師を講師に迎え、「地域での訪問診療と訪問看護について」をテーマに講演がありました。まず在宅医療について説明があり、患者さんにとっては、住み慣れた場所で療養生活が送れ、家族にとっては通院の付き添いなどの負担が軽減されることや、地域包括ケアシステムを構築する



医療の部分で在宅医療は重要な役割が期待されていることなどをご講演いただきました。民生委員・児童委員の皆さんは、訪問診療が住み慣れたご自宅最後まで暮らせるよう、患者さんとご家族の生きることの全体に関わる医療ということを学び、理解を深められました。

「親と子のつどい」参加者募集

7月6日付の回覧文書でお知らせしたとおり、今年もひとり親家庭のみなさまと楽しい1日をすごすために、親と子のつどいを計画しました。日時・行先は、下記のとおりです。ご不明な点は社会福祉協議会事務局(42-1112)へお問い合わせください。今年もたくさんのご参加をお待ちしています。

日時：平成29年8月20日(日)
午前8時15分出発式～午後6時00分散式

行先：宮崎市方面
(宮崎フェニックス自然動物園、青島神社)

募集人数：30名
(募集定員になりしだい締め切らせていただきます)

参加対象：町内にお住いのひとり親家庭の保護者と小・中学生(小学生以下の兄弟姉妹がいらっしゃる場合は参加可能です)

応募方法：多良木町社会福祉協議会に備え付けの申込み用紙に必要事項を記入の上、お申込み下さい。
※月曜日から土曜日の午前8時30分～午後5時30分(祝日は除く)

申込締切：平成29年8月8日(火)まで



フォトフレーム
づくりに挑戦
～ふれあい陶芸教室～

社協のデイサービスセンターにおいて、町立第3保育所の園児の皆さんが陶芸を体験されました。はじめて触れるやわらかい陶芸用の粘土に、最初は苦戦していた園児の皆さんでしたが、陶芸愛好会の皆さんの優しい指導を受けて思い思い楽しく作ることができました。思い出に残る自分だけのオリジナルフォトフレームができました。



次の方々から社会福祉のために
とご寄付をいただきました。皆さ
まの温かい善意に感謝申し上げます。皆
すとともに、故人のご冥福を心か
らお祈り申し上げます。

(敬称略・受付順)

善意の灯

- 尾方保孝(故 妙子) あざぎり町
- 田嶋和子(故 テルカ) 多9区の2
- 那須弘子(故 康夫) 黒5区
- 坂口房美(故 敬次) 多4区の2
- 川辺千代美(故 吉男) 多5区の2
- 三浦稔(故 ノエ) 久5区
- 米良悦子(故 和子) 久3区
- 吉田ヨシ子(故 繁) 多6区の2
- 北崎泰子(故 和生) 多10区の2
- 愛甲智則(故 秋芳) 多1区の1
- 中尾不二男(故 キリエ) 多7区の1